

# 迫桜通信

## 夢はばたけ未来へ!

### さんフェア宮城2019参加 アグリビジネス系列生徒 福祉教養系列生徒

十一月十日(日)仙台市の勾当台公園と県庁を会場に令和元年度みやぎ産業教育フェア「さんフェア宮城2019」が開催されました。これは、農業や工業、福祉、商業といった産業教育に関する専門学科を持つ高校などが、学校での学習の成果を広く紹介し、魅力的な教育内容について理解、関心を高めるとともに、次代につながる新たな産業教育のあり方を発信することなどを目的として、体験・実演、学校生産物展示販売、作品・研究発表などを行うものです。

本校は福祉教養系列二年次生(六名)が「クイズに答えて風船ゲット」と題して福祉クイズ(○×や選択で答えられる)コーナーを運営しました。生徒たちは、事前に高齢者人口・同居率・バリアフリー・メタボなど簡単なクイズを考え、分かりやすい解説を準備していました。当日は、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方々に参加していただき、楽しみながら福祉について学んでいただきました。最初は緊張気味の生徒たちでしたが、徐々に慣れてきて、いつもの明るさでお客様と触れ合うことができました。また、アグリビジネス系列の生徒たちは、自分たちで育てた野菜や花等の販売を行いました。この日は天気に恵まれ、来場者も多く、迫桜高校を知ってもらう良い機会になりました。



みやぎけんはくおうこうとうがっこう

### 宮城県迫桜高等学校

住所 〒989-5502  
宮城県栗原市若柳  
字川南戸ノ西184  
電話 0228-35-1818  
HP <http://www.hakouu.myswan.ne.jp/>  
Email [hakouu@od.myswan.ed.jp](mailto:hakouu@od.myswan.ed.jp)  
担当 図書・情報管理部  
迫桜通信編集係

目次

- さんフェア宮城 2019
- 「迫桜Cuisine」  
-OPEN-
- おめでとう! 写真部
- シクラメン販売会
- 台風災害義援金  
伊具高校へ
- 志講話
- 部活動大会結果



### 宮城県高校写真展 優勝 写真部 3年連続全国総合文化祭出場

#### 3名が2020こうち総文 出場へ

十一月六日(水)〜十日(日)に宮城県美術館において宮城県高校写真展が行われ、本校写真部が総合優勝しました。さらに金賞を受賞した二年阿部マリナさん(花泉中)、山崎永愛さん(東和中)、銀賞を受賞した二年山崎愛花さん(東和中)の三作品が、来年高知県で行われる全国総合文化祭(2020こうち総文)に出場することが決定しました。写真部としては、昨年の信州総文2018に出場した石川舞雪さん(佐沼中)、今年の2019さが総文に出場した山崎永愛さんに続いて、三年連続の全国総合文化祭出場となります。また山崎永愛さんは二年連続での全国総合文化祭出場となります。阿部さんは「全国大会でも入賞できるよう、技術を磨いていきたい」と抱負を語ってくれました。こうち総文での入賞、四年連続となる全国総合文化祭(紀の国わかやま総文2021)出場を目指し、頑張ってください。

「起業と経営」をテーマに、商業科目の総合実践選択者八名が「迫桜Cuisine・キューズ」をオープンしました。十一月〜十二月の二ヶ月間、毎週水曜日昼休みにオープンしています。メニューは手作りプリンやタピオカミルクティーなどです。オープン前から並んでいる生徒も多く、すぐに売り切れてしまうくらいの人気ぶりです。

「生徒たちは企画立案を主体的に行い、ビジネスに対する積極的な姿勢が見られるようになった」と担当の先生は話しています。

### 「迫桜Cuisine」 -OPEN-



# 大盛況

## シクラメン 販売会

十一月十六日(土) 本

校農場で、本校のアグリビジネス系列の生徒が育てたシクラメンの販売会が行われました。

当日は、十時の販売開始前から長蛇の列ができる盛況ぶりです。四時の販売終了までに400人以上の地域の方が来場しました。中には、一人で十鉢以上も買ってくださいの方もいました。本校農場で収穫した野菜と加工した味噌を使った「迫桜鍋」の無料提供も好評でした。

生徒は接客に会計に大わらわでしたが、地域の方に喜んでいただき、達成感、満足感のある心地よい疲れでした。日頃の学習にも大いに励みになりました。ご来場、お買い上げくださった方々、ありがとうございました。



# 「志」講話

## 「生きる意味を考える」

「志」教育の一環として、十一月二十七日(水)、全校生徒を対象に、登米市在住の氏家彰良さん(五九)の講話がありました。

氏家さんは、二十歳の時、仕事中に生命の危機にさらされる大きな事故に遭い、片手片足を失いながらも、それを克服して今日まで社会で活躍されています。その経験をもとに、「生きることは小さな幸せの積み重ねだ」「結果よりもプロセスに意味を見出し、ゆつくりでいいから丁寧に生きることが大切だ」「〆」とは違う生命を持った人間として、高い志を持って突き進んでほしい」と生徒に訴えていました。生徒たちにとっては、日々の高校生活や今後の人生について考える有意義な時間になりました。励まされ背中を押された生徒も少なくないようです。

「生徒の感想」  
「人生遠回りしたからこそ見えてくるものがあるということを知りました。」  
「『日々の当たり前』が、かけがえのない大切な時間だと感じた。不安や辛いことがあっても、前向きに夢に向かって進んでいこうと思いました。」



# 台風災害義援金

## 伊具高校へ

十月十二日(土)の台風19号による大規模な災害に際し、前号では丸森町、大郷町での有志によるボランティア活動についてお伝えしました。今回は、生徒会が中心になって行った募金活動についてお伝えします。

災害後、時をおかず、生徒会が呼びかけて、校内で募金活動を行いました。さらに、十月十八日(金)、近隣のスーパーの店頭で、生徒会執行委員が地域の人からの募金活動を行いました。

義援金は、総額で105,047円になりました。

集まった義援金は、被災した丸森町にある、本校と同じ総合学科の伊具高校に贈ることにし、十一月十四日(木)に生徒の代表が伊具高校に直接届けてきました。伊具高校では、農場が壊滅的な被害を受けたのでその復旧に使いたいとのこと。募金にご協力くださった方々に御礼とご報告を申し上げます。



# 迫桜生 大活躍

## 写真部 全国大会へ! 卓球部 東北大会へ! 書道部 最高賞受賞!

十一月七日(木)～九日(土)に行われた県高校新人卓球大会において、本校女子卓球部は、団体戦で第三位となり、来年一月福島県都市市で開催される東北新人大会への出場を決めました。

さらに、十二月三日(火)～八日(日)に行われた県高校写真展で、本校書道部の曾根真由さん(三年・金成中)が、最高賞の「推薦」を受賞しました。曾根さんは、一年次から三年連続しての最高賞受賞です。この他にも、運動部、文化部問わず、各種大会で結果を残しています。迫桜生の、今後のさらなる活躍にご期待ください。応援よろしくお願います。

写真部の三年連続全国総文祭出場については表面に記事を掲載しました。

写真部・金賞  
2年 阿部マリナさん



書道部・推薦  
3年 曾根真由さん